

「北海道グローバル戦略(仮称)」の策定に係る第3回有識者会議 (議事概要)

1 日 時：平成29年11月21日(火) 10:35～11:55

2 場 所：道庁別館 12階 HIECC 特別会議室

3 出席者

【有識者】※敬称略

- (1) 大津 和子 国立大学法人 北海道教育大学 名誉教授(座長)
- (2) 小畑 永彦 独立行政法人 国際協力機構(JICA) 北海道国際センター所長
- (3) 栗山 潤一 公益社団法人 北海道観光振興機構誘客推進事業部海外プロモーショングループ 担当部長
- (4) 白石 薫 独立行政法人 日本貿易振興機構(JETRO 北海道) 地域統括センター長
- (5) 張 相律 (株)北海道チャイナワーク 代表取締役社長／(株)プレミアム北海道 代表取締役
- (6) 越前 雅裕 公益社団法人 北海道国際交流・協力総合センター(HIECC) 副会長兼専務理事(オブザーバー)

【道】

- (1) 佐藤 嘉大 総合政策部長
- (2) 佐藤 哲夫 総合政策部国際局長
- (3) 加藤 浩 経済部経済企画局国際経済室長
- (4) 工藤 公仁 総合政策部国際局国際課長
- (5) 天野 紀幸 経済部経済企画局国際経済室参事

【事務局】

- (1) 福井 伸雅 総合政策部国際局国際課主幹(進行)
- (2) 中田 昌樹 経済部経済企画局国際経済室主幹
- (3) 宮崎 裕一 総合政策部国際局国際課主査
- (4) 岡部 善尚 経済部経済企画局国際経済室主査

4 概 要

(1) 開会

※ 佐藤総合政策部長挨拶

(2) 北海道グローバル戦略(案)説明

※ 道より、資料1「北海道グローバル戦略(案)の概要」、資料2「北海道グローバル戦略(案)」、資料3「『北海道グローバル戦略(仮称)』の策定に係る第2回有識者会議における意見等への対応」及び資料4「北海道グローバル戦略(素案)についての意見募集結果」により、北海道グローバル戦略(案)の内容について説明

(3) 意見交換

(栗山部長)

- ・ これまでの議論を踏まえ、内容の濃い戦略案ができたと思う。特段、付け加える意見はないが、

今後、戦略に基づいてどのように推進していくかが大事。展開方向に取組主体ごとの役割が明記されているが、具体的に取組の推進主体となるのは、企業・団体、道民である。そこで、①単なる戦略策定の周知だけではなく、戦略を企業・団体が国際関連施策を進める上での基準としてほしいこと、②道民に理解を深めていただくため、セミナー等での周知が必要であることの2点を申し上げたい。

- ・ 9月に韓国の釜山と大邱の旅行会社を訪問し、ヒアリングを行った。その結果、対象国の市場を丁寧に分析する「カテゴライズ（分類すること）」が重要であると改めて認識したが、これは、企業・団体による国際関連施策の展開にも当てはまると思う。
- ・ また、例えば、韓国でもブームになっているコーヒーを札幌でも味わいたいという観光客のニーズにプラスして、道産食材を使用したスイーツやフレンチを合わせて提供するといったように、グローバルの価値にローカルをどう組み合わせていくかが、個別の施策を検討する上で重要。
- ・ 戦略は策定するだけではなく、いかにして民間に動いていただくかが重要であり、セミナーを通じて周知を図り、起業や新分野進出といったモチベーションを持つような後押しをしてほしい。

(小畑所長)

- ・ 策定だけでなく実践が重要とのご意見に同感。戦略への関心を高める工夫が必要。来年の北海道150年関連イベントなどを活用しながら、戦略の周知を図るなど、特に、若い世代をターゲットとした取組を進めてほしい。

(大津名誉教授)

- ・ 道内の若い世代は、「どさんこ」というアイデンティティが強く、道外からも北海道に憧れて来る人が多いので、この「北海道アイデンティティ」という気質を活かした周知方法等を検討してはどうか。

(白石所長)

- ・ 戦略策定後、例えば、「北海道にはこのような戦略があり、策定趣旨も踏まえ、本セミナーを開催します」といったように、JETROの海外展開の施策と本戦略を関連づけることもできる。ジェトロ北海道としては、このような形で本戦略の執行面でも連携して、道内企業の海外展開のお手伝いをしていきたい。

(佐藤部長)

- ・ 戦略を実効あるものとするには、周知するだけではなく、実際に事業として取り組むことが重要。本戦略を年内に策定し、来年度の取組につなげていきたい。

(工藤課長)

- ・ 具体の取組については、戦略案の1ページ目「3 本戦略の構成」にあるとおり、毎年度、「国際関連施策一覧」として整理し、資料編として取りまとめる予定。

(越前副会長)

- ・ 戦略案の17ページ目に関連指標が掲載されているが、「外国人留学生数」と「外国人居住者数」のように、既に目標値を達成している指標については、中間年の2021年をめどに新たな目

標値の設定についての検討が必要。

- ・ 戦略の推進に当たっては、庁内各部局はもとより、民間企業や関係団体等との連携・協働を図り、実効性のあるものにしてほしい。

(工藤課長)

- ・ 既に目標値を達成している指標については、国際情勢などを踏まえながら、戦略の推進管理の中で適宜見直しを検討していきたい。

(白石所長)

- ・ 戦略案の8ページ目「3 世界に通用する北海道の『ちから』」の「国際協力」の欄にJICAの取組が記載されているが、JICAの取組は海外ボランティアや円借款が中心。これら取組についても記載してはどうか。

(小畑所長)

- ・ 戦略の展開に当たっては、是非、JICA事業も活用してほしい。道内では、これまで途上国の技術研修員を年間1,000名程度受け入れてきているが、彼らの多くは、中央省庁や公的機関の職員であり、帰国後に国づくりの中心的役割を担う人物である。1か月間程度の研修期間中、東京に研修旅行に出る機会もあるが、北海道に戻ってくるとホッとするという研修員も多い。彼らに北海道の良さを売り込んでおくことによって、帰国後にも様々なつながりができると思う。
- ・ また、これまで道内から2,300名以上の海外ボランティアを途上国に派遣しており、帰国後、グローバルな視点を持ってローカルでもさらに活躍してほしいと思っている。現在、百名以上派遣中だが、現地で北海道のPRを行う「アンバサダー」のような名称を付与いただけるような制度があると、帰国後、地域に戻って貢献しようという意識・モチベーションも上がるのではないか。

(大津名誉教授)

- ・ 道内の学生ボランティアが、週末に技術研修員の街案内を行っているが、若者同士が出会いを通じて得られるものはとても大きい。このような取組も、道が持つ「ちから」として活用できる。

(白石所長)

- ・ 今後、了解が得られれば、JICA、HIECC、北海道観光振興機構など関係機関と連携し、戦略の目的達成に向けた協力を行うことも検討していきたい。

(栗山部長)

- ・ 外国人観光客のニーズは、ここ数年細かくなってきている。例えば、道内に来る外国人リピーターが、旅行中に時間が空いた時、地元に住んでいる外国人留学生などの遊び方の情報があれば有効活用できると思う。

(張社長)

- ・ 戦略案は、道民に分かりやすい内容になったと思う。今後、展開方向にある取組イメージを充実させていくことが必要である。

- ・ 表紙の「～世界を舞台に活躍する『北海道』をめざして～」と9ページ目のめざす姿「世界をより身近に、世界を舞台に活躍」は、ほぼ同じ意味であるので、どちらかに合わせた方がよいのではないかと。

(大津名誉教授)

- ・ めざす姿をそのまま表紙のサブタイトルにしてはどうか。

(工藤課長)

- ・ サブタイトルは、当初、戦略名が議論になった際、戦略策定の趣旨を明らかにするため追加したもの。めざす姿は、中長期的な方向性をイメージしてもらうために定めたものであり、それぞれ作成した経緯が異なるが、同じ意味なので整理する方向で調整する。

(大津名誉教授)

- ・ 戦略案は、当初の素案イメージと比べると大分読みやすくなった。さらに言えば、余白にイラストを入れるなど、読んで楽しい雰囲気させるよう工夫してほしい。
- ・ また、SDGsのイラストは、17の目標が読めるよう拡大してほしい。

(工藤課長)

- ・ 資料編には関連計画・方針を掲載する予定であり、SDGsも併せて入れるようにしたい。また、JETRO、JICAなど国際関係団体の取組で本戦略と関係のあるものについても掲載したい。

(大津名誉教授)

- ・ 本日は、戦略策定後の進め方について議論してきたが、今後、本有識者会議のメンバー同士のネットワークが、本戦略を推進していく上での大きなエンジンになればと思う。

(4) 今後のスケジュール

- ※ 道より、今後のスケジュールについて説明（第4回定例道議会の開会前日の11月27日に行われる総合政策委員会及び経済委員会で案を報告し、議会議論を経て年内に決定、その後、年度内に、来年度の国際関連施策や関連データなどを資料編として取りまとめる予定）

(5) 閉会

<配付資料>

- ・ 出席者名簿
- ・ 資料1 北海道グローバル戦略（案）の概要
- ・ 資料2 北海道グローバル戦略（案）
- ・ 資料3 「北海道グローバル戦略（仮称）」の策定に係る第2回有識者会議における意見等への対応
- ・ 資料4 北海道グローバル戦略（素案）についての意見募集結果
- ・ 参考資料1 第2回有識者会議（議事概要）
- ・ 参考資料2 「北海道グローバル戦略（仮称）」の策定に係る有識者会議開催要領

(了)